

育成を目指す資質・能力

速さを比べるためには、単分量あたりの大きさを使えばよいことを理解すること

ICT活用のポイント

・授業において、児童が考えを深める視点を共有し、解決に必要な時間を得るために、配信された動画を視聴し、家庭学習で自分の考えをもち授業に臨めるようにする。

【前時の終末】

単元の学習とてあい、本時のめあてを設定する。
速さの比べ方を考えよう。

【家庭】

動画教材を視聴して課題に取り組む。

【本時】

家庭学習の内容を基に、まとめ①を行い、次の問題に焦点化する。

考えを交流し、本時のまとめ②を行う。

練習問題を行い、動画教材を視聴して次時の課題にふれる。

事例の概要

【事例におけるICT活用の場面①】

- 教科書のとびらを用いて、速さを比べるには時間と道のりが必要であることを確認し、時間と速さを基に速さの比べ方を考えることへの問題意識を高める。
- 家庭において、クラウドストレージに保存された動画教材を視聴して課題を把握し、教科書に示される問題の速さの比べ方について自分の考えをもつ。
- 登校後、速さの比べ方が書かれたノートを提出し、教師はノートを画像に収める。

【事例におけるICT活用の場面②】

- ノートの画像を活用して、道のり、または、時間の一方がそろっているときの速さの比べ方を共有し、「道のりや時間が同じなら速さが比べられる」ことをまとめる。
- 道のりも時間も異なる場合の速さに焦点化して、公倍数を用いた比べ方や、単分量あたりの大きさを用いた比べ方に関わる考え方を視점에交流する。
- 本時のまとめ②として、道のりも時間も異なる場合でも、「速さは単分量あたりの大きさを使うと比べることができる」ことを確認する。

【事例におけるICT活用の場面③】

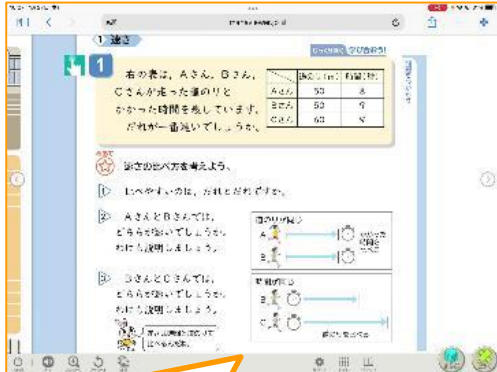
- 教科書の練習問題を解き終わった児童は、動画教材を視聴して次時に扱う時速、分速、秒速の用語にであう。

【算数・小5・「速さ」】②

【事例におけるICT活用の場面①】

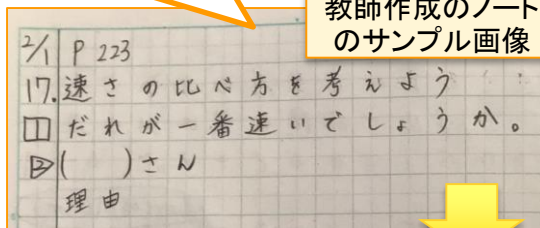


- 前時の終末部で、問題意識を共有
- 家庭学習の見通しをもつ

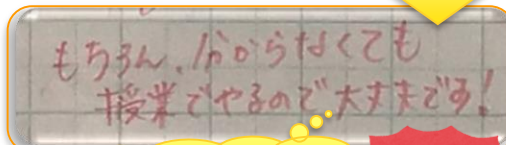


- 家庭学習では、動画の視聴により問題を正確に把握
- 時間をかけて個人追究

配信された画像を参考に、考えをノートにまとめる



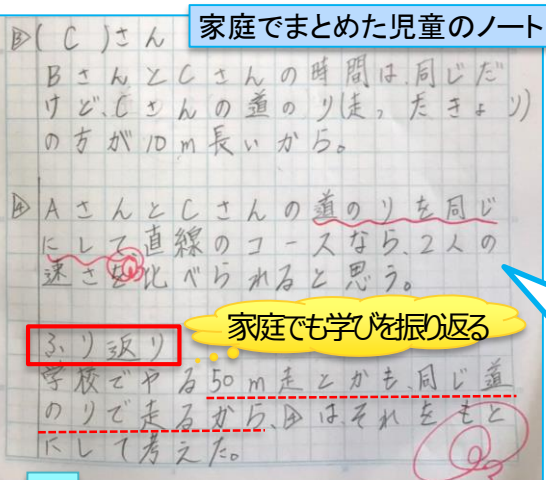
教師作成のノートのサンプル画像



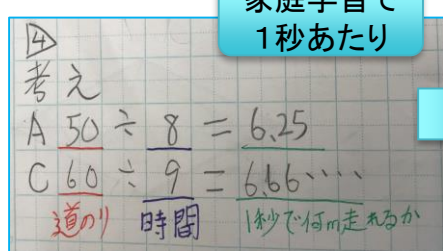
苦手な子に安心感を与える言葉かけも

重要!

【事例におけるICT活用の場面②】

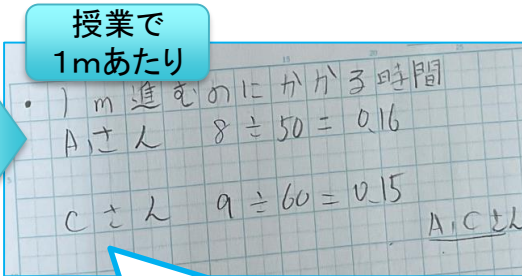


家庭でも学びを振り返る



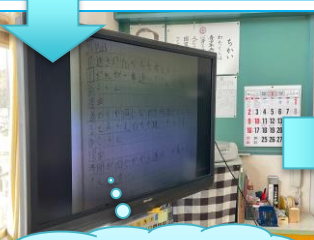
家庭学習で
1秒あたり

- 自分の考えをもって授業に臨み、学習意欲が向上
- 式や言葉を使って豊かに表現

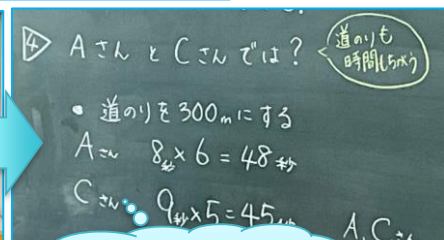


- 友達の意見を理解し、新たな視点で考えを広げる
- 数値の意味も深く考える

【事例におけるICT活用の場面③】



大型提示装置で共有



板書して考えを残す



次はどんな内容かな

- 本時の学びとのつながりを意識できる
- 次時の活動への見通しをもつ

- 【活用したソフトや機能】
- 動画教材
 - カメラ機能
 - デジタル教科書
 - 大型提示装置

家庭学習では、3通りの速さの比べ方について考えさせた。自分なりの考えをもちやすいよう、デジタル教科書の問題を読み上げ、答え方や着目する数値等の説明を吹き込んだ動画を配信した。あわせて、ノートの書き方を記した画像も配布し、予習に取り組みやすくした。

また、児童の学習状況や考えを把握し、授業中に効率よく交流活動を行えるよう、家庭学習のノートは朝回収し、画像に収めた。

本時の授業では、道のり、または、時間がそろっている時の速さはどの児童も比べられていたため、大型提示装置を用いてスムーズに確認することができた。時間にゆとりが生まれ、家庭で考えた児童のアイデアを基に、公倍数、1秒あたり、1mあたりを用いた考え方や意味を、一人一人にじっくり考えさせ、問題練習にも取り組むことができた。

問題練習を終えた後は、次時の内容を扱った動画を活用し、自ら学習を進める児童の姿も見られた。

1. 単元名 「速さ」

2. 学習計画

	時	学習内容	家庭学習計画	
		【前の単元の終末】 ◎次の単元への問題意識をもち、家庭学習の内容を把握する。	走った道のりやかかった時間が同じ場合の速さを比べ、走った道のりもかかった時間も異なる速さの比べ方を考える。	予
速さ * 自分の歩く速さを調べよう	1	◎速さは時間と道のりで決まることに気づき、速さの比べ方に興味・関心をもつ。	時速・分速・秒速の用語について知る	予
		◎速さを比べるためには、単位量あたりの大きさをさえばよいことを理解する。		
	2	◎速さを求める式を理解するとともに、「時速」、「分速」、「秒速」の用語とそれらの意味を理解する。	速さを求める問題に取り組む。	復
	3	◎数直線図や速さの意味をもとにして道のりを求め、道のりを求める公式を導く。	道のりを求める問題に取り組む。	復
	4	◎数直線図や速さの意味、道のりを求める式をもとにして時間を求め、時間を求める公式を導く。	時間を求める問題に取り組む。	復
	5	◎単位が異なる場面について、速さの比べ方を理解するとともに、「時速」、「分速」、「秒速」の変換の仕方を理解する。 * 自分の歩く速さを調べる活動を通して、速さを実感し、速さに対する理解を深める。		
練習問題	6	◎基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。		